

自然からの贈り物 再生可能エネルギー



再生可能エネルギーは、自然の力を利用したエネルギーで、地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど出さないエネルギーです。

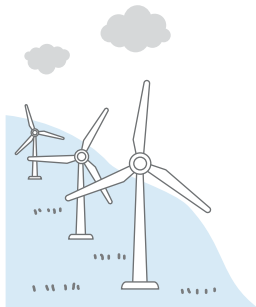
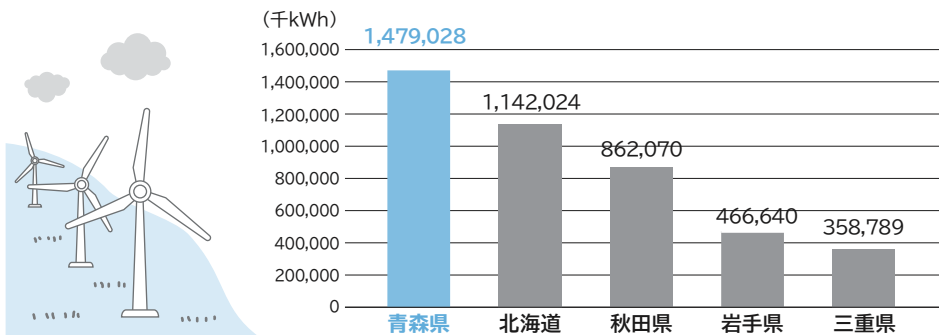
青森県は、豊かな自然に恵まれ、特に、風力発電には全国の中でもたいへん適しており、令和4年度の風力発電による発電量は日本一となっています。

県内では平成27年10月に国内最大級(当時)の太陽光発電施設(11万5千キロワット)が発電を開始したほか、令和2年4月からは国内最大級の風力発電施設(12万1千6百キロワット)が発電を開始しています。

さらに、地中熱や温泉熱を利用した冷暖房や融雪など、地域の特性に合った様々な再生可能エネルギーの活用が進んでいます。

再生可能エネルギーの導入が進むことで、化石燃料の使用と二酸化炭素の排出の削減につながることが期待されます。

都道府県別 風力発電量ランキング(令和4年度)



ユーラス六ヶ所ソーラーパーク

新むつ小川原株式会社 提供



ウインドファームつがる

株式会社グリーンパワーインベストメント 提供

資料: 資源エネルギー庁、県エネルギー開発振興課

決め手は青森県産！

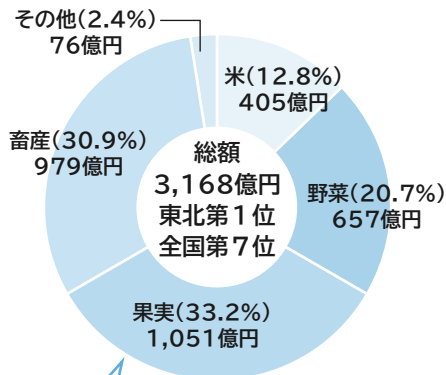


青森県の農業産出額は、19年連続で東北トップ！米・野菜・果実・畜産物がバランス良く生産されているのが特徴です。

また、日本の食料自給率(カロリーベース)が38%に対して、青森県は120% (令和3年度概算値)で全国第4位！おいしい農産物が豊富。

やっぱり、決め手は青森県産品ですね。

青森県の農業産出額 (令和4年)



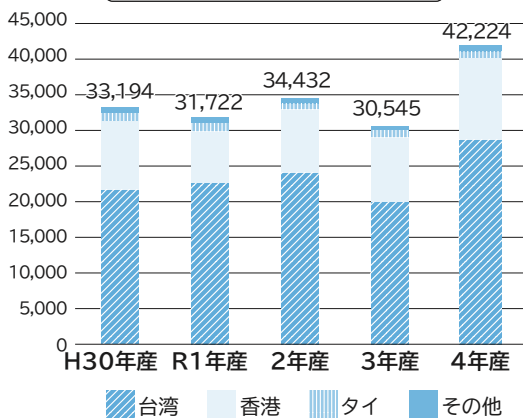
果実は全国1位！

青森県のりんご

青森県のりんごは、全国の6割を占める約44万t (令和4年産)が収穫され、栽培面積(令和4年)、産出額(令和3年)、東京都中央卸売市場の年間取扱金額(令和4年)は、**全国1位**です。

日本から輸出されているりんごは、主にアジア地域向けで、その9割以上は青森県産と推計されています。

りんごの輸出量(全国) (t)



イチおしミニあらかると

青森県で、ふだんの仕事として農業を行っている方(基幹的農業従事者)の平均年齢は65.4歳(2020年農林業センサス)で、全国で2番目に若いのが特徴です。

資料: 県農林水産政策課、県りんご果樹課、県国際経済課

イチおしミニあらかると

ジュノハート

青森県オリジナルのさくらんぼ「ジュノハート」は、大玉で糖度が高く、ハートの形が特徴です。6月下旬から7月頃に百貨店などで取扱われます。



青森きくらげ

イチおしミニあらかると

「青森きくらげ」は、乾燥させない「生」の販売が主体で、6月から10月頃まで多く出回ります。肉厚でコリコリと歯応えが良く、食物繊維やビタミンDなどの栄養価が豊富です。

イチおしミニあらかると

青い森紅サーモン

「青い森紅サーモン」は、県内のきれいな川や湧き水で、県産のにんにくやりんごを含むえさを食べて育ちます。その身は美しい紅色で、脂のノリが程よく、うま味が強いのが特徴です。10月から翌年2月頃まで多く出回ります。



青天の霹靂

イチおしミニあらかると



あおり米「青天の霹靂」は、粘りとキレのバランスがよく、上品な甘みが残るさっぱりとした味わいが特徴です。頬張れば口の中でハラリと心地よくほどけ、どんな食材とも相性がよく、おかずを選ばない頼もしさがあります。

イチおしミニあらかると

はれわたり

あおり米の新品種「はれわたり」は、2023年秋に全国デビューしました。透き通る白さが際立ち、柔らかく、ふっくらやさしい食感と、ほどよい甘みが特徴です。



オンリーワンで行こう！元気な企業たち



青森県には、アイデアを原動力に、新しい技術^{ぎじゆつ}を全国・海外へ発信し続ける元気な企業や団体がたくさんあります。共通するのは、「創意工夫^{そうい くふう}で他社との差別化をはかる」、つまり、オンリーワンで行こう！ということ。

先端貯蔵技術^{せんたん ちゆう さう}で農業を支えます！

大青工業(株)(青森市)

農家さんが収穫^{しゆうかく}した果物や野菜を、凍るギリギリの温度で保存^{ぼんぞん}する「氷温技術^{ひえん ぎじゆつ}」を開発しました。

この技術は、国内の農家さんに広く使われています。

これにより、食べ物の鮮度が長く保てるので、私たちは食材を無駄^{むだ}にせず、いつでも美味しく食べることができます。



世界トップシェアの微細合金粉末^{びさい こんまつ}

エプソンアトミックス(株)(八戸市)

スマートフォン、タブレット端末^{たんまつ}などの電子機器のほか、自動車や医療^{いりょう}など幅広い製品の素材として使われている金属粉末^{きんぞく ぷんまつ}を独自技術^{どくじ ぎじゆつ}で製造し、世界トップシェアを誇っています。世界最先端のオンリーワン技術^{ぎじゆつ}で、未来のものづくりを支えています。

人にやさしい医療を実現！世界トップシェアの医療機器

青森オリンパス(株)(黒石市)

朝日インテック(株)(八戸市)

胃、大腸の検査^{けんさ}や治療^{ちりょう}に使われる内視鏡^{ないし けい}で、世界トップシェアを誇るオリンパスグループの生産工場です。内視鏡^{ないし けい}に必要な処置具製品^{しよち せいひん せいぞう}の開発・製造を行っています。様々な製品^{せいひん}があり、内科と外科を合わせ、その数は2,300種類にも及びます。



手首や足の付け根からカテーテルという細い管^{そうにゆう}を挿入^{せま}し、狭くなった血管を広げる治療^{ちりょう}に必要な製品^{せいひん}の開発・製造・販売^{せいぞう はんばい}をしており、心臓血管治療用のガイドワイヤーでは世界トップシェアを獲得^{かくとく}しています。現在は、世界118の国や地域へ製品を提供^{ていきよう}しています。

青森から世界へ！人々の暮らしを支える作業工具 (株)永木精機(六ヶ所村)

電気、ガス、水道、通信、鉄道など、私たちの暮らしには欠かせないライフラインを支える作業工具の製造・開発を行い、その技術と品質が国内及び世界30カ国以上に認められています。青森から世界の多くの人々の安全と安心を守り続けています。

業界初の技術で最優秀賞受賞！ Orbray(オーブレイ)(株)青森黒石工場(黒石市)

自動車・航空機等の部品を触れることなく可視化できる精密測定機を開発・商品化し、2020年に中小企業庁長官賞(最優秀賞)を受賞しました。この測定機は、多くの大手企業の製造現場で採用されています。

また、主力商品の小型モーターは、最近注目されている小型ロボット(ロボホン、LOVOT、AIBO)の中に組み込まれています。



青森発にチャレンジするIT企業 (株)フォルテ(青森市)

新型コロナウイルス感染症対策のため、AI(人工知能)カメラの技術を応用し、顔認識、マスクの有無検知、体温測定が可能なシステムを開発。医療機関など多くの施設で使用されており、数々の賞を受賞しました。また、衛星を活用して現在位置を精確に特定するシステムは東京オリンピック2020のセーリング競技にも使用されました。

医療現場のシステム化を高品質に使いやすく マルマンコンピュータサービス(株)(弘前市)

病院で働く職員向けのシステム開発を行っており、看護師の勤務を管理するシステム「ナース物語」は、全国の医療機関で使用されています。また、血液中の成分を分析するシステムでは、医療の安全と効率化を支援しています。近年では弘前大学COIプロジェクトの中で開発した健康増進支援サービス「健康物語」が企業や団体の健康管理に活用されています。

青森発の機能性素材「プロテオグリカン」を製造・販売 (株)角弘(青森市)

コラーゲン、ヒアルロン酸に並ぶ第三の機能性成分として注目されている「プロテオグリカン」を、化粧品や健康食品の原料として製造・販売。弘前大学との共同研究により、大量かつ安全に抽出する世界初の製造方法を確立し、プロテオグリカンを使った第1号食品「PG-inりんご酢」を発売。

2022年には、県産業技術センターが開発したプロテオグリカンの保水性能を向上させる技術を活用して、新たに化粧品原料「プロテオグリカンMKC」を商品化しました。

青森で働こう！



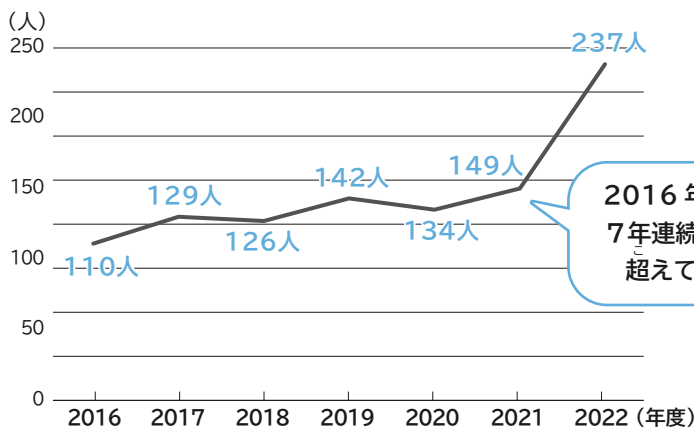
青森県では、県産の安心な素材と自然な色にこだわった野菜のクレヨンを作ったり、季節の食材を使用したピザを売ったりするなど、魅力的な地域の資源やアイデアを生かして自分でお店を開く方のお手伝いをしたり、若い人に人気のある仕事であるゲームの開発を行っている会社を誘致するなど、働く場、生活する場として「選ばれる青森」を目指して、青森だからこそ、いろいろな仕事にチャレンジできる地域づくりに取り組んでいます。

あもり U I J ターン創業事例集



また、県内8市に創業支援拠点を設置して創業や起業を希望する人のお手伝いをしています。拠点を利用した創業者の数は2016年度から7年連続で100人を超えており、そのうちの4割近くが女性でした。U I J ターン創業に関する相談者も近年増加傾向にあります。

創業支援拠点を利用した創業者数



2016年度からは、7年連続100名を超えています！

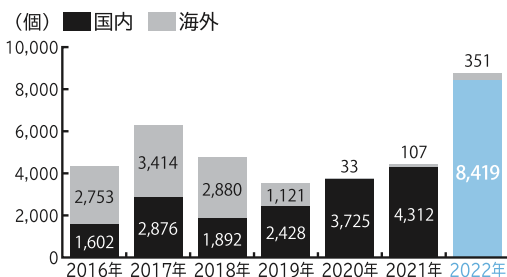
A!Premiumロゴマーク



2022年度の取扱い個数は、国内外
合わせ前年度比198%増の計8,770
個となり、過去最高だった2017年度
を大幅に更新しました。また、国内のみ
の取扱い個数は3年連続で過去最多
を更新しており、回転寿司チェーン店
における県産食材の人气が後押しをして
います。

A!Premiumは、青森県とヤマト運輸株式会社
が提供する流通サービス(物を届けるサービスの
こと)で、トラック輸送と航空輸送を組み合わせ
て使い、主に西日本へスピーディーかつ、新鮮な
状態で県産品をお届けしています。

A!Premium取扱い箱数



国内や海外での取扱いが増えた理由の一つは、生産量全国第1位のホタテの取扱いが増えたことです。A!Premiumにより、生きたホタテをお届けできるようになったため、おいしさ・めずらしさから取引が増えています。また、取引の約9割は魚介類ですが、最近では肉や野菜、果物の需要もどんどん増えてきています。

青森県の地理的なハンディキャップを克服し、農林水産品の販路を拡大していく、それがA!Premiumなのです。



ホタテの握り。新鮮なので“ひも”も刺身で提供しています。

㈱コムライン 魚魚丸 提供



アジア最大のフードショー『香港フードエキスポプロ』に参加。青森県のブースには人がたくさん並び大盛況でした。



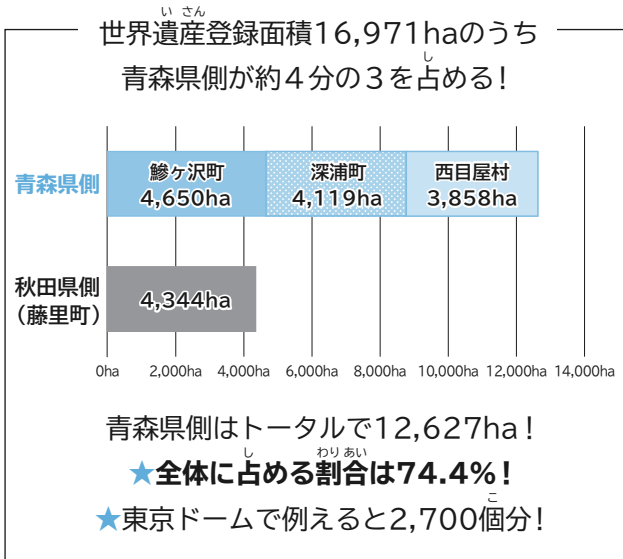
資料: 県港湾空港課

日本初の世界自然遺産 白神山地



白神山地は、青森県と秋田県にまたがる約13万haにおよぶ広大な山岳地帯で、このうち人の影響をほとんど受けていない原生的なブナ林で占められている約1万7,000haのエリアが、1993年(平成5年)、日本初の世界自然遺産として、屋久島とともに登録され、2023年(令和5年)には登録30周年を迎えました。日本国内の自然遺産は、「白神山地」、「屋久島」、「知床」、「小笠原諸島」、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の5件だけです。

白神山地は都市から遠く離れ、険しい地形で囲まれていることが幸いし、自然の生態系が守られてきました。そのため、ブナを中心にイヌワシ、ツキノワグマ、ニホンカモシカ、アオモリマンテマなど、多種多様な動植物が暮らす生き物たちの楽園となっています。



白神山地では、星空が美しく見えます。星空が美しく見えるのは、白神山地の山並みが都市部の光を遮り、星が見えにくくなる原因となる人工の光が届きにくいからです。白神山地のある深浦町の星空は、過去に実施された「全国星空継続観察」で日本一に輝いたこともあります。ぜひ一度ご覧ください。

資料：県自然保護課、ユネスコ世界遺産センターHP、環境省HP、林野庁HP

大地から学ぼう!ジオパーク



「ジオパーク」とは、変動し続ける自然や地球と人々の関わりを学ぶ場所、また持続可能な地域を目指す取組のことです。青森県には2つのジオパークがあります。

日本最大!「三陸ジオパーク」

三陸ジオパークは、八戸市から宮城県気仙沼市までの南北約220kmに及び日本最大のジオパークです。県内にある代表的なサイト(見どころ)として、国内で唯一、ウミネコの生態や繁殖を間近で観察できる「蕪島」や、海水面の隆起などによってできた海成段丘と、海沿いの険しい岩礁とのコントラストが美しい「種差天然芝生地」などがあります。



蕪島 (八戸市)

本州最北!「下北ジオパーク」

下北ジオパークは、特徴が異なる3つの海に囲まれた下北地域の5市町村にまたがる本州最北のジオパークです。現在も続く火山活動によってできた景観が特徴的な「恐山」や、海岸沿いに連なる白緑色の奇岩・巨岩が神秘的な「仏ヶ浦」などのサイトがあります。2024年には、青森県では初の開催となる「日本ジオパーク全国大会」が下北ジオパークで行われます。



仏ヶ浦 (佐井村)

ジオパークで、私たち人間が未来に向けて今できることを考えてみませんか。